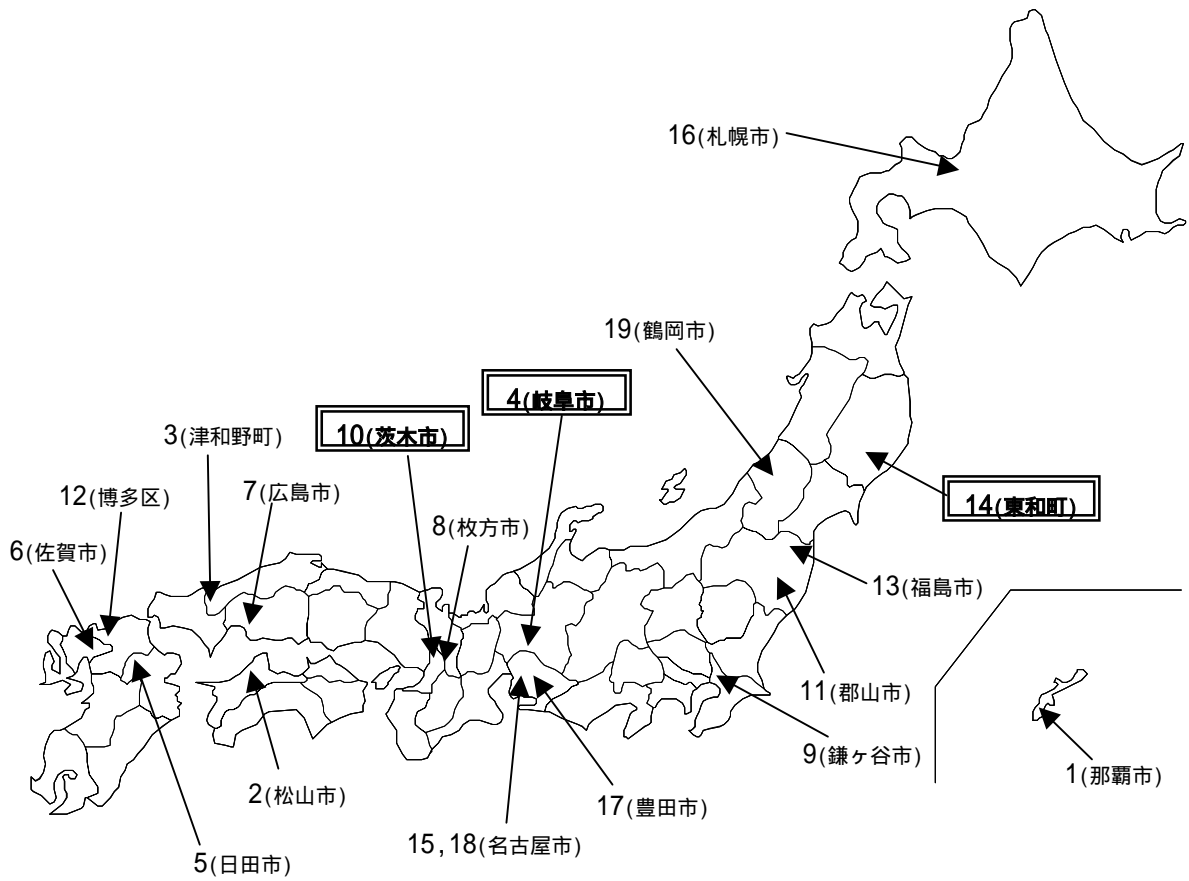


平成 15 年度 社会実験実施地域一覧

	テーマ分類	実施地域	主な実施施策
1	歩行者・自転車優先施策 (トランジットモール)	沖縄県 那覇市	【那覇市国際通りトランジットマイル社会実験】 那覇市内の公共交通として本年8月にモノレールが開業することを受け、渋滞が著しい国際通りを、休日のみならず平日もトランジットモール化する実験により、トランジットモールの恒常的な導入の可能性について検証する。
2	歩行者・自転車優先施策 (トランジットモール)	愛媛県 松山市	【～ロープウェイ通り～ 歩いて楽しいモール実験】 松山市中心部(番町・八坂地区)において、市街地アーケード街と松山城ロープウェイ乗り場を結ぶ道路をトランジットモール化し、歩行環境の向上を図ることにより、商店街来訪者や観光客が増加し、賑わいの創出ができるか検証する。
3	歩行者・自転車優先施策 (トランジットモール)	島根県 津和野町	【津和野人と環境に優しいまちづくり交通社会実験】 観光地津和野らしい交通環境を実現する上で、循環バスの新規運行とパークアンドライド、トランジットモールなどの自動車進入抑制の施策が、歩行環境を改善し、地区の魅力向上につながるかどうかを検証する。
4 (追加)	歩行者・自転車優先施策 (トランジットモール)	岐阜県 岐阜市	【交通政策の転換に向けた岐阜市総合型交通社会実験】 岐阜市駅前において、トランジットモールや歩行者優先ゾーンの設置のほか、バス優先レーンの設置や路面電車走行環境・乗降利便性の向上を総合的に実施することの有効性を検証する。
5	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	大分県 日田市	【天領日田、歩いて時間(とき)を感じるまちづくり社会実験】 観光地日田らしい交通環境を実現する上で、観光中心地区での自動車進入制限、パークアンドライド、トランジットバスなどの歩行者優先の施策が、地区の魅力向上させ、観光客の回遊促進に有効かどうかを検証する。
6	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	佐賀県 佐賀市	【日新地区交通環境改善プログラム - 通学路の安全性 - 】 一定エリア内の主要通学路において、速度制限の見なおし、ハンプの設置、車両通行制限を試行したうえで、交通量の変化や小・中学生や住民、ドライバーの意識変化等を分析し、それぞれの対策の有効性と導入可能性を検証する。
7	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	広島県 広島市	【都心商業地区における歩行者と自動車、自転車の共存化に関する実験】 歩行者と自転車が輻輳し、違法駐輪が深刻となっている広島市中心地域(紙屋町・八丁堀地区)において、歩行者専用区域や自転車走行支援ゾーンの設定、分散型の駐輪場設置などの有効性を検証する。
8	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	大阪府 枚方市	【「歴史街道 あるいてにぎわう枚方宿」社会実験】 旧東海道の宿場として栄えた市道を対象として、通過交通の抑制、賑わいの創出を図るため、ハンプ設置などによる速度抑制対策の実施や、歩行者専用道路化による街頭パレードなどの各種イベントの実施が有効かどうかを検証する。
9	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	千葉県 鎌ヶ谷市	【歩行者に安全なまちづくり導入実験】 生活道路への通過交通の流入により交通事故の増加が深刻化している鎌ヶ谷市東初富地区において、道路危険箇所にはハンプや狭さくなどを設置し、それぞれの対策の有効性について地域住民とドライバーとで情報交換を行うなどにより導入の可能性を検証する。
10 (追加)	歩行者・自転車優先施策 (くらしのみちゾーン)	大阪府 茨木市	【JR 茨木駅周辺交通円滑化社会実験】 大阪のベッドタウンである茨木駅周辺の交通渋滞、迷惑駐車など交通問題を解決するうえで、一方通行化などにより駅周辺の複雑な交通流を整理し、バス交通の環境を改善するとともに徒歩や自転車の「ゆとり空間」を創出する。また、その整備方針を地域と協働のワークショップの中で検討する。

	テーマ分類	実施地域	主な実施施策
11	歩行者・自転車優先施策（くらしのみちゾーン）	福島県 郡山市	【中心商業地における交通情報提供と歩行支援実験】 郡山中心市街地において交通渋滞の解消とバリアフリーの促進を図るため、IT技術を活用して道路や鉄道の状況を画像と文字情報でリアルタイムで提供することや、高齢者・障害者の円滑な移動のための電動スクータのレンタルシステムの運用が有効かどうかを検証する。
12	NPO等との協働による道活用	福岡県 福岡市 (博多区)	【道路空間のコミュニティインフラ化 in 博多】 福岡都心部（博多部エリア）において、NPOが中心となり、まちの魅力向上のため創意工夫を行う地域主体の道路空間の管理を継続的に行う仕組み（ルール作りや活動資金調達）を構築するための実験を行う。
13	NPO等との協働による道活用	福島県 福島市	【地下駐車場（既存ストック）を活用した中心市街地活性化実験】 福島市中心部の市街地において地下駐車場を無料化することにあわせ、メイン通りからの自動車通行排除によるイベントを継続的に行う仕組み（ルール作りや活動資金調達）を構築するための実験を行う。
14 (追加)	NPO等との協働による道活用	岩手県 東和町	【地域住民による『遊びの歩道』創出実験】 幅員が狭く歩道のない中心商店街通りにおいて、TMOが中心となり道路及び空地に仮設歩行空間を創出し、「遊びの歩道」をイメージしたイベントなど地域主体の道路空間の管理を継続的に行う仕組み（ルール作りや活動資金調達）を構築するための実験を行う。
15	物流・駐車対策	愛知県 名古屋市	【IT社会における駐車場情報提供等の高度化社会実験】 都心部の路上駐車を削減するため、通信型カーナビにより、ドライバーの嗜好に応じた目的地近傍の最適駐車場の案内・誘導を行うシステム導入等の有効性を検証する。
16	物流・駐車対策	北海道 札幌市	【「人と環境を重視した都心交通計画」社会実験】 人・自転車・自動車などの各交通モードが混然としている札幌市中心部において、路上・路外の荷捌きスペースの設置とこれを運用するルールづくりの他、自転車利用マナーの啓発の有効性を検証する。
17	バス利用の促進	愛知県 豊田市	【デマンドシステムと情報提供による玄関口バス運行実験】 「中心市街地バス」の利便性向上を図るうえで、バス停を公共施設・病院・大型店舗の玄関口に設置し、乗客が存在する時のみ施設内に進入する簡易デマンドシステム導入の有効性を検証する。
18	バリアフリー	愛知県 名古屋市	【円滑な移動環境を提供する歩行者ITS社会実験】 歩行経路の複雑な名古屋都心部（栄地区、ITS世界会議会場周辺）において、高齢者・障害者のみならず健常者の円滑な歩行支援を目的に、バリアフリー情報や経路情報などを提供する歩行者ITSシステムの有効性を検証する。
19	道路管理における地域住民との協働	山形県 鶴岡市	【COOL ROAD 提供実験】 積雪地域の中心市街地において、夏期間に融雪システムを運転し、歩道やバス停などの路面温度を低下させることが、ヒートアイランド現象の緩和、快適な歩行空間の創出に役立つかどうかを検証する。

注) 番号は、次頁の位置に対応



平成 15 年度 社会実験実施地域一覧
 (枠囲みは今回追加地域)